

eラーニングウェアとしての操作性

◆ シンプルな操作性 ◆

学習者にとってMoodleの使い勝手は、至ってシンプルなもの。欧米の多くの小学校や中学校などでも利用されていることから、その使いやすさが伺えます。一方、教員側の使い勝手という点では、教員側に一定の「学習」は求められます。しかしそれは、ワープロソフトや表計算ソフトやプレゼンテーションソフトなどとの新しい出会いの時とまったく同じ性質のものにすぎません。基本的な機能は、PCに不慣れな方でも、その日のうちに理解できる程度のものです。

◆ 多様なファイル置き場 ◆

教材となる電子データは、pdfファイルやパワーポイントなどのファイルはもちろん、小規模な動画ファイルなども各コースに置いておくことができます。学生は、必要な教材や課題のデータや資料をそこからダウンロードして、計画的な予習・復習が行え、教員は、その実施状況を一人一人把握できます。クラス連絡簿などとしても、一斉に連絡や返信回収が簡単にできます。

そのすべてをシンプルに運営管理する

■ 次のような団体や個人の皆さまに役立ちたい moodle

CASE 1

eラーニングを導入できる**予算は確保されたが**、本学の学生や教員の実情にあったシステムやサービスを選びかねている。

CASE 2

ムードルの卓越性や世界的な**普及ぶりは聞き及んでいるが**、これまでの出入りのインフラ業者では、請け負ってくだっても導入までのサービスだけだと言われた。

CASE 3

教員もIT管理者も**実際にじっくりと(数週間程度でなく)**、個々のLMSの操作や能力等を試せる場がない。

CASE 4

先進的な学校との、**教学上の差別化**を解消したい。

CASE 5

高校までの既習事項の復習、高大連携、入学前教育、リメディアル初年次教育、インターンシップ前研修などは、**正課授業に組み込めない**ので、自主的な学習にしたい。

CASE 6

国家試験・検定等の対策を兼ね、通常授業の**補習や内容の定着**をはかりたい。

CASE 7

大人数授業の成績や出欠の管理を一括して扱えるしくみがほしい。

CASE 8

少数の教員で**多数のクラスを担当**しているため、各授業の管理を一括して扱えるしくみがほしい。

CASE 9

頻繁に課す**タスクやミニレポートの回収**をもっとスマートに扱いたい。

CASE 10

自主的な学習であっても、**個々の学生について、その進捗状況や達成度**を全履修者のなかで相対化し、しっかりと常に把握しておきたい。

CASE 11

学生のITリテラシーや教員のこれまでの授業スタイルに照らして、導入後の実際の効果が十分見込めるか心配だ。導入後に**実際にどのくらい稼働される**だろうか。

CASE 12

学生向けのeラーニング利用ガイダンスだけでなく、教員向けの利用ガイダンスまでは、**学内の情報管理担当者サイド**では受け合えない。

CASE 13

学内の情報管理担当者サイドにはeラーニングシステムの**管理と運用のノウハウ**がない。

CASE 14

システムのバージョンアップや、**学内の個別環境や導入授業の構成や履修者の変動**に対応していけるのか。

CASE 15

大学全体ではなく、**専攻やコースの予算で、専門科目などに特化した**双方向学習のしくみがほしい。

CASE 16

所属大学が互いに異なる教員・研究者らによる有志や研究グループが、1つの教科コースやプロジェクトを作り上げていくための、**共同作業や共同研究のプラットフォーム**として利用できる環境がほしい。

CASE 17

eラーニング専用サーバを**学内に立ち上げるほどの予算**は、継続確保できない。

CASE 18

学外の業者サーバeラーニングを稼働させたいが、**個人情報**が載っているので、セキュリティー上、心配だ。

CASE 19

すでにムードルを導入しているが、**随時ヴァージョンアップ**をしたい。

CASE 20

毎回の授業で画像を含む**多量の教材・資料**を使うが、OHPやパワポでは学生の手元に残らないので、お互いに困る。今後は、動画資料も使いたい